

			部介助を要する。	
		・ 介助なし		
⑤	行動障害および精神症状	(1) 強いこだわり、多動、パニック等の不安定な行動や、危険の認識に欠ける行動。	・ ほぼ毎日（週5日以上）支援や配慮等が必要	調査日前の1週間に週5日以上現れている場合又は調査日前の1か月間に5日以上現れている週が2週以上ある場合。
		(2) 睡眠障害や食事・排泄つに係る不適応行動（多飲水や過飲水を含む。）。		
		(3) 自分を叩いたり傷つけたり他人を叩いたり蹴ったり、器物を壊したりする行為。	・ 週に1回以上の支援や配慮等が必要	調査日前の1か月間に毎週1回以上現れている場合又は調査日前の1か月間に2回以上現れている週が2週以上ある場合。
		(4) 気分が憂鬱で悲観的になったり、時には思考力が低下する。		
		(5) 再三の手洗いや繰り返しの確認のため日常動作に時間がかかる。		
		(6) 他者と交流することの不安や緊張、感覚の過敏さ等のため外出や集団参加ができない。また、自室に閉じこもって何もしないでいる。		
		(7) 学習障害のため、読み書きが困難。		

※通常の発達において必要とされる介助等は除く。

別表2 医療的ケアの判定スコアの調査

項目	細項目	基本スコア	見守りスコア		
			高	中	低
① 人工呼吸器（鼻マスク式補助換気法、ハイフローセラピー、間歇的陽圧吸入法、排痰補助装置及		10	2	1	0

び高頻度胸壁振動装置を含む。)の管理				
② 気管切開の管理		8	2	0
③ 鼻咽頭エアウェイの管理		5	1	0
④ 酸素療法		8	1	0
⑤ 吸引(口鼻腔又は気管内吸引に限る。)		8	1	0
⑥ ネブライザーの管理		3	0	
⑦ 経管栄養	(1) 経鼻胃管、胃瘻、経鼻腸管、経胃瘻腸管、腸瘻又は食道瘻	8	2	0
	(2) 持続経管注入ポンプ使用	3	1	0
⑧ 中心静脈カテーテルの管理(中心静脈栄養、肺高血圧症治療薬、麻薬等)		8	2	0
⑨ 皮下注射	(1) 皮下注射(インスリン、麻薬等の注射を含む。)	5	1	0
	(2) 持続皮下注射ポンプの使用	3	1	0
⑩ 血糖測定(持続血糖測定器による血糖測定を含む。)		3	1	0
⑪ 継続的な透析(血液透析、腹膜透析等)		8	2	0
⑫ 導尿	(1) 間欠的導尿	5	0	
	(2) 持続的導尿(尿道留置カテーテル、膀胱瘻、腎瘻又は尿路ストーマ)	3	1	0
⑬ 排便管理	(1) 消化管ストーマの使用	5	1	0
	(2) 摘便又は洗腸	5	0	
	(3) 浣腸	3	0	
⑭ 痙攣時における座薬挿入、吸引、酸素投与又は迷走神経刺激装置の作動等の処置		3	2	0

(注)